三原市立木原小学校　スタートカリキュラム　育てようとする資質・能力（【思考力・判断力・表現力等】①表現力　【学びに向かう力・人間性等】②自信・主体性・協働性

学校の実態：①全校児童十数名の小規模校で、本年度入学予定児童も２名である。新入学児の連携は、担当者が園所と連携して行い、情報を全教職員で共有する。

②地域・保護者の協力体制があり、「木原太鼓踊り」や「ミニとんど」などの体験的な活動が実施されている。

月		4　5　6　7　8　9			10　11　12　1　2　3	
期		Ⅰ期（4月）	Ⅱ期（5月～7月末）	Ⅲ期（9月２週目まで）	Ⅳ期（9月２週目～１２月末）	Ⅴ期（1月～3月）
行事		入学式・お迎え集会・地域別児童会・避難訓練	交通安全教室・体育参観日・地域別児童会・終業式・防犯教室	始業式・地域別児童会・避難訓練	社会見学・ミニコンサート・地域別児童会・終業式・PTC 親子会	始業式・地域別児童会・避難訓練・ミニとんど・６年生を送る会・卒業証書授与式・離退任式・修了式
育ってほしい児童の姿		・登校への意欲を高め、学校生活を楽しく過ごす姿。 「がっこうは、たのしいな。」「おともだちができたよ。」 ・大きな声で挨拶をする姿。 「おはようございます！」「さようなら！」	・自分から友達との関わりをもとうとする姿。 「一緒に遊ぼう。」	・できることが増え、学習活動に喜びを感じている姿。 「できたよ。嬉しいな。」	・できることに加え、さらに学習意欲を高めている姿。 「もっとやりたいな。」	・進級に向けて、２年生になる自分の姿を待ち遠しく感じている姿。 「かっこいい２年生になりたいな。」
生活科		【がっこうだいすき】（１０） 【がっこうだいすき】（１０）Ａ年度 【春だ今日から２年生】（２）Ｂ年度	【はなをさかせよう】（７） 【なつがやってきた】（８）Ａ年度 【どきどきわくわくまちたんけん】（８）Ｂ年度 【生きものなかよし大作せん】（８）Ｂ年度	【いきものとなかよし】（８）Ａ年度 【みんなでつかうまちのしせつ】（６）Ｂ年度	【たのしいあきいっぱい】（１２） 【たのしいあきいっぱい】（１０）Ａ年度 【ふゆをたのしもう】（９）Ａ年度 【もっとなかよしまちたんけん】（１１）Ｂ年度 【つながる広がるわたしの生活】（１０）Ｂ年度	【じぶんでできるよ】（１２） 【もうすぐ２ねんせい】（１５）
関連する単元	①表現力	【よろしくね】(国) 友達と笑顔で挨拶ができる。 【こえをとどけよう】(国) 声の大きさの違いに気付き工夫し伝えることができる。 【あいうえおのうた】(国) 発生や発音に気を付けて友達に伝えることができる。 【ねんどとなかよし】(図) 自分の作りたいものを決めて表現できる。	【みんなにはなそう】(国) 自分の考えを友達に伝える喜びを感じ取る。 【きいてつたえよう】(国) 友達の言葉をみんなに正しく伝える。 【ことばあそびうたをつくろう】(国) 言葉遊び歌を作り、感想を伝えあう。	【あるけあるけ／き】(国) 話のまとまりや言葉の響きを楽しみながら音読することができる。 【はなしたいな　ききたいな】(国) 伝えたい事を選択し友達に聞いてもらってうれしいと感じることができる。	【なにに見えるかな】(国) 相手の発言を受けて楽しく話をつなぐことができる。 【はっけんしたよ】(国) 必要な事柄を集め、伝えたい事を明確にして書くことができる。	【むかしばなしをたのしもう】(国) 昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして楽しみ、親しみをもつことができる。 【おはなしをかこう】(国) 書くことを決めて順序良く書き進める。 【小学校のことをしょうかいしよう】(国) 一年間を振り返り、新１年生のために紹介することができる。
	②自信・主体性・協働性	【きこえるよ】(国) 言葉の響きやリズムを楽しもうとしている。 【うたでなかよしになろう】(音) みんなで歌ったり踊ったりすることが楽しいと感じる。 【すきなものいっぱい】(図) 好きなものを進んで描いたり作ったりできる。 【１学期の目標】(学) １学期の学習や生活の目標を決める。	【ことばあそび】(国) 言葉のリズムや音の楽しさを感じながら友達と楽しむことができる。 【たのしくおどろう】(体) リズム遊びにすすんで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、場の安全に気を付けたりする。 【てつぼうあそび】 鉄棒あそびにすすんで取り組み、順番やきまりを守って楽しむことができる。	【２学期の目標】(学) ２学期の学習や生活の目標を決める。 【たからとりおに】(体) 規則を守り誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたりすることができる。	【ボールなげゲーム】(体) 規則を守り誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたりすることができる。 【いろんなともだちはなしだす】(図) 顔をつくったり、粘土の友達でお話したりすることを楽しむ。	【おとをあわせてたのしもう】(音) 友達の声をきき、楽しみながら歌うことができる。 【いろいろなうごきのうんどうあそび】(体) いろいろな動きの運動遊びに取り組み、場の安全に気を付けることができる。
異学年・地域との交流		○地域別児童会 ○お迎え集会 ○みんなあそび活動 ○ファミリー班での掃除・給食配膳	○太鼓踊り指導 ○体育参観日 ○みんなあそび活動 ○ファミリー班での掃除・給食配膳	○地域別児童会 ○みんなあそび活動 ○ファミリー班での掃除・給食配膳	○社会見学 ○ミニコンサート ○PTC 親子会 ○みんなあそび活動 ○ファミリー班での掃除・給食配膳 ○保育所等との交流活動	○ふれあい参観日 ○ふれあいコンサート ○みんなあそび活動 ○ファミリー班での掃除・給食配膳 ○体験入学 ○６年生をおくる会
指導上の配慮事項		・生活科を中核として、合科的・横断的な指導を工夫する。 ・姿勢や鉛筆の持ち方について、図と言葉で示したモデル図を通年で掲示し、学習中に繰り返し指導を行う。 ・養護教諭との連携を図り、心身共に健康状態を把握する。 ・トイレに不安を感じる児童に対して、個別に声をかける。 ・視覚支援・ナンバリングで指示を明確に行う。 ・机上の整理整頓を指導し、必要な物以外は机上に置かないようにする。 ・図書館司書と連携し、学校図書館を積極的に活用したり、学級文庫を充実させたりする。 そうすることで、読書に親しめるように配慮する。		・学習規律を丁寧に指導し、定着できるようにする。 ・寒い季節に体調を崩しやすい児童が多くなるので、体調管理に配慮する。 ・異学年交流を通して、相手や場面に応じた言葉遣いや思いやりについて考えさせるようにする。 ・年間読書目標を設定し、読書の習慣を身に付けさせる。 ・新入生のための準備を行うことを通して、上級生になるという自覚を高めさせる。 ・教室内のロッカーや床の清掃を定期的に行い、安全な学習環境を整える。 ・卒業証書授与式や離退任式の歌では、気持ちを込めて歌うように指導する。		
家庭との連携		・一週間ごとに学習計画を配布し、準備物の確認を行う。準備については、児童と一緒に行うよう依頼する。 ・個人懇談会を通して、家庭での様子について直接連携する。		・長期休業中、最終日等に、登校に不安を感じている児童宅に電話連絡を行い、家庭での様子や宿題について連携を図る。		・進級への準備物について学年だより等で連携する。